

令和4年度 第2回山陽小野田市地域公共交通会議 議事録

令和4年8月30日（火）

1 協議事項

発言者	発言要旨
	<ul style="list-style-type: none"> ◆高畑・高泊循環線の路線等の見直しについて（資料1） ◆高泊地区へのデマンド型交通の導入について（資料2） ◆地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について（資料3）
会 長	資料1から3まで、高畑・高泊循環線の廃止と高泊地区へのデマンド型交通の導入に関する一連の議題として一括して協議する。ご質問やご意見などはないか。
委 員	<ul style="list-style-type: none"> ①資料2について、乗降地点の選定において、高千帆郵便局や地域交流センターは候補になかったのか。 ②使用車両はセダンと説明があったが、これはタクシー会社が所有する車なのか。もし新たに購入するなら、スライドドアの方が狭い道でも乗降しやすい。 ③小野田駅前のバス停については、以前から既存の停留所を駅前広場に集約するという話であったと思うが、まだ対応されていないのはなぜか。 ④小野田駅のサンデン交通バス停前に乗降地点を設定することは理解したが、例えば船木鉄道のバスに乗り換えて、市の南部に行きたい人は乗換が大変であり、他の場所の検討が必要ではないか。 ⑤市民病院の乗降地点について、今のバス停をそのまま使うのかと思うが、場所が非常にわかりにくい。バス停に会社名を明確に表示し、時刻表もきちんと掲げてほしい。 ⑥市民病院について、「市民病院」というバス停と、その近くに「市民病院入口」というバス停もある。ここで待っていたのにバスが停まらなかったと言われることがある。
会 長	<ul style="list-style-type: none"> ①乗降地点については、昨年来自治会と協議し、基本的に地元の要望を反映されている。これまでの地元との議論について、事務局から回答してほしい。 ②車両は予算や許認可の関係もあろうかと思う。事務局から詳細な説明をお願いしたい。 ③小野田駅のバス停集約について、なかなか捗っていないのはご指摘の通りだと思う。ただ、これはデマンド交通だけの問題ではなく、バスを含めた公共交通全体に係るテーマであり、この後に議論する地域公共交通計画の方で大事な話かと思う。 ④デマンドの乗降位置に関して事務局から分かれば回答してほしい。 ⑤⑥最後の市民病院のバス停については、事務局で分かれば回答してほしい。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> ①乗降地点について、昨年度、高泊地区の住民に集まっていたいただき意見交換会を開催してきた。その中で、買い物や通院等、希望する目的地を挙げてもらい、多くの要望が寄せられた地点を設定した。その際に、高千帆郵便局や地域交流センターは挙がらなかった。なお、高千帆郵便局に関しては近隣のJAに乗降地点を設置しているので、そこから徒歩で高千帆郵便局には行けると思う。 ②車両については、新しく購入せずにタクシー会社の車両を活用する。乗降地点も多数あり、いつどこでどれくらいの予約が入るのか想定しづらい状況の中、車種を特定するとその1台しか運用できなくなってしまうので、汎用性の高いセダンとした。

	<p>③小野田駅の本停集約については、前計画にも書かれており、地域公共交通計画でも引き続き協議すべき課題と認識している。</p> <p>④今回、小野田駅に乗降地点を設定するが、固定式ではなく可搬タイプとしている。まずは、乗降地点を案のとおり設定し、今後の地域公共交通計画策定の中で、変更が必要となれば柔軟な対応を検討したい。</p> <p>⑤市民病院の本停について、看板はバス会社の財産になるので、そういった懸念があったことについては関係者と共有する。</p> <p>⑥市民病院入口について、船木鉄道やサンデン交通の車両が多く入り混雑するため、分散を図るという意味合いもあるのかと思う。こういった懸念があったということは課題として認識しておく。</p>
委員	今回のデマンド導入にあたって、タクシー会社の手持ちの車を活用するのが一番経済的だと思う。公共交通全体の利用が減っているのだから、効率的な運用を図るべきである。
会長	地元の意見ということで運行を始めても、思っていた結果と違うことになることもあるが、修正を加えることはできる。まずは、地元で良いと思われている案で走り出し、その後意見があれば改めて議論することになるかと思う。
委員	資料2のAIデマンドシステムの活用について、もともとタクシー会社が持っているものを使うのか。
事務局	タクシー会社所有のシステムを活用する。同時多発的に出てくる予約に対し、短い時間で運行ルートを作ることが必要になる。プロポーザルの中でタクシー会社から提案があったので採用した。
委員	まずは電話予約で開始して、アプリでの予約は随時開始することと思う。アプリ予約はいつ頃開始予定か。
事務局	基本的に10月1日からアプリ予約も開始する。
会長	小野田駅の乗降地点が10月1日より少し遅れて利用開始となるということだが、それまでの間は別のところで乗降するのか。
事務局	はたもとクリニックが一番近い乗降地点になるので、小野田駅に行かれる方にはそちらをお勧めしたい。
会長	他にご意見はないか。 では、議事1~3について、まずはこの内容でまずは10月からの運行を承認することよろしいか。
各委員	(承認)
会長	3件について承認されたこととする。 実施してみないとわからないこともあろうかと思う。今後地元ニーズをさらに反映して改善することもある。そのためにもまずは利用いただかないといけない。これまでも地域との話し合いの場を持たれているが、これを地域で支える動きにつなげてほしい。
◆地域公共交通計画の策定状況について(資料4)	
会長	資料4-3は計画で整理する現況部分かと思う。事実誤認等あれば後で教えていただきたい。こういう事実を踏まえて、今後課題について議論していくのが重要と思う。
委員	宇部市営バスは、商工センターまでしか来ていない。サンデン交通は、この秋からサンパーク止めになるため、宇部市営バスは少なくともサンパーク、できれば小野田駅まできて

	<p>ほしい。</p> <p>小野田市役所が公園通りにあった経緯から、そこまで宇部市営バスは来ているのだろう。サンパークの利用客は小野田市民が半分、他は市外から来ると聞いている。様々な調整が必要とは思いますが、なんとか考えてほしい。市の境目を意識する必要はない。</p>
会 長	<p>様々な経緯があることは承知しており、なかなか難しいと理解している。両市にまたがった買い物、通勤、通学などは現実にかなりある。山陽小野田市だけでなく宇部市にも考えてほしいことだが、JR 小野田線のこともあるし、このゾーンを一体として考えるのが大事だと思う。今回の計画では、そういう観点が必要と思うので、事務局の方で検討していただければと思う。</p>
委 員	<p>高齢化が進み、高齢者夫婦で買い物・通院されている方もいるのが現状だが、これから独居老人がどんどん増える。今、山陽小野田市では「山陽小野田市支え合いの地域づくり推進協議体」において、地域の中でそういった方を支えるということをしている。その中で重要なのが自家用有償旅客運送の問題である。デマンド交通でカバーできない地域や、山運行しない日・時間帯もある。資料 4-1 では、自家用有償旅客運送が紹介されているが、今回の計画の中で検討されるのか。</p>
会 長	<p>重要な点だと思う。地域公共交通計画の策定においては「輸送資源の総動員」という言い方をよくされている。事務局では具体的な想定はされているのか。</p>
事 務 局	<p>自家用有償旅客運送の制度は承知しているが、実際のところはまだ具体的な検討まで進んではいない。ただ、将来を考えたときにデマンドに次ぐ新たな視点かと思う。ドライバー不足の状況もあってデマンドを補完する位置づけとして、地域の理解・協力が必要だが、選択肢として排除せずに念頭においておきたい。</p>
委 員	<p>8/21 の山口新聞に、富山県朝日町の自家用有償旅客運送の事例が掲載されていた。良いと思ったのが、市がしっかりとバックアップしていること。地域にすべて任せると限界が出てくるので、市が関与することが必要である。そういう視点で検討していただきたい。</p>
会 長	<p>山口県内でもそれに近いものはあると思う。本市で担い手になれる方々がいれば、可能性はあるかもしれない。ただ、現時点でそうした地域はないというのが事務局の回答かと思う。きちんと担い手を作ることが大事だと思う。</p>
委 員	<p>自家用有償旅客運送をするにあたっては、協議会の場で公共交通空白地であるため導入が必要だということを議論して承認いただく必要がある。当然市にも積極的に関わっていただいた上で、地域で有償運送をしていただくという形になるかと思う。</p>
会 長	<p>背景として担い手不足がある。タクシー会社に余裕がなくて、カバーできない場合、地域に担い手がいれば、自家用有償旅客運送の可能性はあると思う。</p>
会 長	<p>他に意見はあるか。なければ私から個人の意見を申し上げる。</p> <p>先ほど前計画の振り返りをしていただいた。小野田駅のバス停集約のことなども含め、積み残しの課題はある。何が何でも全部やるというわけではないが、なぜうまくいかなかったのかも分析していただきたい。</p> <p>この数年で、コロナの影響もあって公共交通の環境は非常に厳しくなっている。利用がかなり減っているとのデータもある。これがどこまで戻るのかという議論もあるが、完全には戻らないというのが自然な予測と思っている。しかしながら、市民の生活を支える公共交通は必要なものなので、将来に向けて、どういったあり形が望ましいのか、鉄道だけで</p>

	なく公共交通全体について、事務局でも検討していただきたいし、この場でも議論していきたい。
--	--

2 報告事項

発言者	発言要旨
◆停留所の新設等について（際波台～理科大線）（資料5）	
会 長	ご質問はあるか。
各 委 員	意見なし

3 その他

発言事項なし